



出雲市の中心部を流れる高瀬川は、江戸時代初期から水運、灌漑に利用され、その清流と川沿いの伝統的町並みは、美しい景観を見せている。「市民コミュニティー広場」は、高瀬川沿線整備事業の一環として整備が進められたものである。広場は、市街地の中の森林をイメージしたもので、四季の花壇、竹林、藤棚ナンキンハゼの広場などが設けられており、三十四種、六〇〇〇本を超える樹木が植栽されている。

また、ジョギングロードやアスレチック器具を設けたほか、この地が市民球場であったことから、その面影を残すメモリアル広場にしている。

整備後は、木の文化を伝える公園として市民のジョギングや散策、憩いの場に幅広く利用されている。

DATA・BOARD 78

- ① 島根県出雲市大津町1678-1
- ② 面積：13,200㎡
- ③ 花壇、ジョギングロード、アスレチック器具、管理棟ほか
- ④ 植栽、木材、自然石、透水性ゴム、透水性樹脂、チップウレタンほか

